

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部 第118回本部会議 記録

日 時／令和4年7月21日（木）
15：30～：16：00
場 所／本庁舎3階 テレビ会議室

【副本部長（小玉副知事）】

これより、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の第118回本部会議を開催します。まず、道内の感染状況等について、新型コロナウイルス感染症対策監から説明願います。

【佐賀井新型コロナウイルス感染症対策監】

それでは資料1をご覧くださいと思います。まずスライド1です。主な指標について、昨日、7月20日時点で、人口10万当たりの新規感染者数は、札幌市281.5人、札幌市を除く地域で197.3人、全道で228.9人になっております。感染拡大の速度が増しております。今週先週比はいずれの地域も1.9前後と先週のほぼ倍の感染者数となっております。療養者数も同様の傾向にあります。また病床使用率ですが、札幌市で20.8%、札幌市を除く地域で9.8%、全道で13.4%といずれの地域も増加傾向でございます。

続いてスライド2になります。各圏域の状況を見ますと、新規感染者数は、全ての圏域で、先週比が1を超えておりまして、2を超える圏域も複数あるなど、急拡大傾向でございます。病床使用率も全ての圏域で増加傾向にございまして、特に札幌市や十勝圏の増加が顕著であります。

続いてスライド3、総評1になります。全国的に新規感染者数や病床使用率が大きく増加する中、他県との比較では本道はいずれも低いものの、国の専門家は、今後、感染者数の急増の継続も懸念されると指摘しているところです。療養者数は増加傾向にございまして、人口10万対265.6人。病床使用率は低い水準の中、増加傾向にありまして、重症病床使用率も低い水準で推移する中ではありますが、ここ数日増加して2.9%となっております。新規感染者数は、先週のほぼ倍となっております。地域によっては先週比が急増している圏域もあります。年代別では、引き続き30代以下の割合が約6割となる中、特に10代、20代の感染者数やその割合も増加しております。オミクロン株の派生株でありますけれども、札幌市で新たにBA.5系統が11件、札幌市を除く地域で6件検出されておりました。道内ではこれまでBA.5系統が31件、BA.4系統が2件。BA.2.12.1系統が1件の計34件が検出されております。国の専門家は、BA.5系統は検出割合の増加し、置き換わりが進んでいると指摘してございまして、引き続き、ゲノム解析によりましてその動向を監視してまいります。

続いてスライド4、総評2にあります今後の対策です。現下の感染拡大への対応ですが、新たな行動制限を行うのではなく、社会経済活動をできる限り維持するとの国の考え方の下に、全国の感染者数が過去最多を更新するといった拡大局面の中、引き続き、保健医療提供体制の確保に努めまして、また、道民の皆様にご感染防止行動の意識を引き上げていただいて、特に重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方への感染抑制に取り組んでまいります。とりわけ、帰省の多い時期となりますので、高齢者などや、そうした方々と会われる方の双方が、基本的な感染防止行動であります「3つの行動」を徹底するよう働きかけてまいります。また、高齢者などに会う際には検査による陰性確認などを呼びかけて

まいります。高齢者施設等での効果的な換気を含めまして、基本的な感染防止対策の徹底ですとか、集団感染発生時の広域支援チームの迅速な編成・派遣、さらには地域の感染状況を見据えた頻回検査の実施などを進めてまいります。また、ワクチンの4回目接種の加速に向けまして、市町村等と連携を強化してまいります。引き続き、基本的な感染防止行動である「3つの行動」の実践、特にこの時期に注意が必要な場面などでの実践やワクチン接種促進を呼びかけてまいります。また、地域では振興局が市町村や関係団体と連携し、情報共有を行いまして周知を図ってまいります。

続いてスライド5、総評3です。4回目接種の対象拡大ですけれども、7月22日、明日ですが、国の審議会での協議を踏まえまして、国から通知される予定となっております。速やかな接種開始に向けまして、必要なワクチンの配分調整や接種券の発行手続きなどの情報提供、こういった市町村への積極的な支援に努めてまいります。高齢者や重症化リスクのある方の4回目接種、若年層の3回目接種の積極的な検討を働きかけてまいります。4回目接種は、道の接種センターでの集団接種を積極的に周知しますとともに、市町村の接種促進の支援にも努めてまいります。また、3回目接種ですが、道のセンターの活用のほか、若年層の接種促進に向けまして、多様な媒体を活用した広報の展開や夏休み期間の接種の呼びかけなど、市町村との連携のもとに取り組んでまいります。

3回目接種までが対象のノババックワクチンですけれども、7月24日から8月28日までの間、道のセンターで1日240回に拡大して実施します。市町村でも北見市や函館市、旭川市で接種を開始しておりまして、また、苫小牧市、釧路市も今後開始予定でございます。引き続き、より多くの市町村での接種に向けて調整を進めてまいります。

無料検査ですが、現在約750ヶ所で開催しておりまして、旅行や帰省などで移動が活発になるお盆休みに向けまして、札幌駅や帯広駅、新千歳空港などに加えまして、新たに旭川駅でも実施することとし、今後、こうした検査の利用について積極的に周知を図ってまいります。

新規感染者の増加を踏まえまして、業務継続計画、いわゆるBCPですが、再確認を進めてまいりよう、経済団体と連携するとともに、道としても再確認の取組を進めてまいります。

続いてスライド6以降ですが、何点か主要な動向などを補足説明いたします。

スライドを少し飛ばしましてスライド24をご覧いただきたいと思っております。感染者の急増ですけれども、図にありますとおり、棒グラフの急激な右肩上がりのおりでございますが、このうち年代別の感染者割合は、円グラフのとおり30代以下の割合は、引き続き最も高い状況にあります。特に10代、20代の増加が顕著な状況となっております。また、60代以上では、80代以上の方々が横ばいなものの、60代、70代が増加傾向にあります。こうした年代別の詳細につきましては、後ほどスライド21、22、23をご覧いただければと思います。

続きましてスライド25をご覧いただきたいと思っております。集団感染の発生状況ですが、札幌市、また、札幌市を除く地域とともに、足下で件数、感染者数ともに大幅に増加している状況でございます。

続いてスライド26をご覧いただきたいと思っております。左側の表になりますが、ワクチンの3回目接種の状況ですけれども、7月19日現在、VRSベースで約338万1千人。接種率は64.7%。このうち65歳以上の高齢者の方ですが、約150万3千人。接種率は90.1%。また、その右側の表になりますが、4回目接種の状況はこれまで約18万6,000人が接種し、このうち60歳以

上の方は約18万人。接種率は9.0%となっております。続いて下段の表になりますが、小児の接種率、これはいまだ高くはないものの、1回目20.3%、2回目18.7%と全国を上回る状況が継続しております。

スライド27をご覧くださいと思います。全道の3回目接種の年代別の状況ですが、65歳以上は高い水準にありますけれども、10代は32.8%にとどまっている状況でございます。また20代、30代では全国の接種率を上回り、50%前後となっておりますけれども、依然、他の年代よりは低いことや感染の急拡大が続いておりますので、若年層の接種の更なる加速化に向けて、市町村の取組を積極的に支援してまいります。

続いてスライド29をご覧くださいと思います。丸の一つ目になります。人の移動や世代間交流が活発となります夏休みなどに向けた接種率向上に取り組むとともに、丸の二つ目ですが、感染急拡大を踏まえ、高齢者はもとより、これまで3回目接種を受けていない方への情報提供、あるいは接種希望者への対応など、道の接種センターも活用しながら、市町村と連携し取組を進めてまいります。

次にスライド30をご覧くださいと思います。4回目接種ですが、丸の3行目にあります医療機関、高齢者施設等の従事者をその対象とすることが明日の国の審議会で協議される予定となっておりますので、決定され次第速やかに対応できるよう、市町村と協力して取組を進めてまいります。

続いてスライド32をご覧くださいと思います。丸の一つ目、道の接種センターでのノババックワクチンですが、道民の皆様から高い関心をいただいております。8月7日（日）の接種分も既に予約枠を満たしている状況にあります。次は8月14日（日）ということで、来週26日（火）から予約を開始する予定としております。

丸の三つ目、道のセンターでのモデルナワクチンの3回目と4回目接種ですけれども、いずれも全日程に空きがございますので、引き続き、広く接種を呼びかけてまいります。

その他のスライドにつきましては、本日の説明に関するデータ、あるいは情報でございますので、後ほどご覧くださいと思います。資料1の説明は以上となります。

続いて資料2をご覧くださいと思います。先ほどの資料1「道内の感染状況等」について、専門家、有識者の皆様のご意見を伺いますとともに、市町村や関係団体の皆様にも事前にお知らせしております。有識者、専門家の皆様からは、概ね妥当である旨のご意見をいただいておりますが、その内容をご紹介しますと、1のとおり、本道は他県に比べて新規感染者数は少ないものの、今後、夏休みの人の移動により増加が予測される。ワクチン接種のさらなる推進と「3つの行動」の徹底について広報活動をお願いする、2ですけれども、道南は感染拡大が急激な地域となっており、今の感染拡大を考えると、来週の新規感染者は今以上となることが想定されるので、病床確保の観点から、前倒しで病床フェーズの引き上げを考えるべき。といったご意見が寄せられておりました、こうした面につきましては、今後の対策の参考としてまいります。

私からの説明は以上でございます。

【副本部長（小玉副知事）】

次に、札幌市の感染状況について、オブザーバー出席いただいております札幌市保健所の山口感染症担当部長から、説明をお願いいたします。

【山口札幌市感染症担当部長】

札幌市の山口でございます。資料3に基づきまして札幌市の感染状況についてご説明をいたします。

それでは、最初のスライドをご覧ください。新規感染者の1週間の合計につきまして、昨日の7月20日（水）の時点では5,521人、人口10万人当たりでは281.5人と増加が続いております。先週の同じ曜日と比べますと約2倍に急増しております。また、本日も約1,600人の新規感染者が確認されるなど、さらなる感染拡大に警戒が必要な状況でございます。

それでは、次のスライドをご覧ください。札幌の入院患者数でございますけれども、黄色い棒グラフでございます。昨日の時点で157人となっております。重症患者数は赤の折れ線グラフでございますが、0人の状況が続いております。入院患者数につきましては、3連休の影響もありまして、医療機関での整理等の関係から週明けに大きく増加し、先週に比べますと約1.8倍の数となっております。病床使用率も20%を超えておりまして、新規感染者数が急増している状況を踏まえ、入院患者数のさらなる増加に対応するためにも、医療機関と連携しながら医療提供体制の確保に万全を期してまいりたいと考えております。

それでは、最後のスライドをご覧ください。検査件数でございます。直近の1週間では11,168件の検査を実施してございます。陽性率は、昨日の時点で、49.4%と非常に急増しているところでございます。感染拡大が続く中、医療の負荷をできるだけ抑え、社会経済活動を維持するためにも、ワクチン接種の促進や、場面に応じた基本的な感染対策の徹底が重要と考えてございます。

以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

次に、各部、振興局から順次発言をお願いいたします。経済部次長からお願いします。

【新津経済部次長】

経済部です。資料1の総評の最後にありますBCPに関してでございます。資料はございません。道ではこれまで感染拡大時においても、本道経済への影響が最小限となるよう、経済団体などに対しまして、事業継続計画、BCPの点検、策定の取組につきまして、会員企業への周知、働きかけの協力をお願いしてきたところでございます。7月以降再び感染拡大の局面となります中、BCPなどに関する再確認を行うため、本日、各経済団体と直接お話し、感染が拡大する状況にあっても、事業への影響が最小限となるよう、連携して進めることを改めて確認したところでございまして、今後とも社会経済活動をできる限り維持できますよう経済団体等とも連携を図りながら取り組んでまいります。以上でございます。

【副本部長（小玉副知事）】

次に十勝総合振興局長をお願いします。

【芳賀十勝総合振興局長】

十勝です。資料4に基づき十勝管内における感染防止対策の取組について説明いたします。まず、十勝管内の新規感染者数は、一番上の棒グラフのとおり、4月18日から3日連続で過去最高を記録するなど、感染の拡大が続いていましたが、5月のゴールデンウィーク

明け以降は減少傾向が続き、6月10日から33日連続で2桁台の日が続いていたところがございます。しかしながら、先週の13日に、152人と3桁を記録してから急速に新規感染者が増加しており、その後は連日100人を超える日が続いております。

また、棒グラフ下の直近の週別推移を見ましても、6月16日から7月6日までは、新規感染者数、病床使用率とも前の週を下回っておりましたが、7月7日以降は、新規感染者が前の週の2倍を上回るスピードで増加し、それに伴い、病床使用率も上昇傾向にあります。

直近の新規感染者の傾向としましては、その下の集団感染及び学校等の状況にありますとおり、社会福祉施設等で3件の集団感染が発生しているほか、帯広農業高校や管内の認定こども園、公立の小・中学校などでも感染が急拡大、学校閉鎖、学級閉鎖、休園など高齢者や児童生徒などの間で感染が拡大している状況です。

このため十勝総合振興局では、次のページの一番上の感染防止対策にあるとおり、高齢者施設などに直接伺って、感染防止対策の徹底を依頼するほか、市町村とも連携した管内の皆様への呼びかけ、また、児童生徒に向けた振興局と教育委員会、校長会、PTAなどとの合同メッセージの発出、さらには観光やビジネス客をターゲットにした駅や空港レンタカー事業者へのチラシ配布など、感染拡大防止に向けた啓発広報活動に積極的に取り組むとともに、その下にあります第三者認証取得促進にありますとおり、第三者認証取得率が低い町村の商工会に直接伺って、認証取得の要請を繰り返し行っているところがございます。

また、ワクチン接種の向上に向け、その下のワクチン接種の促進にありますとおり、十勝管内でも副反応が少ないノババックスワクチンの接種が可能となる体制構築を支援しているほか、ワクチンの3回目接種の検討の呼びかけを継続して行っております。

これから十勝管内では、3年ぶりに開催されます勝毎花火大会をはじめ、帯広平原祭、全国中学校ソフトボール大会など、多くのイベントが実施される予定となっているほか、夏の観光シーズンやお盆休みなどによりまして、人と人の接触機会が増加することが予想されるため、振興局としましては、これまでの取組に加え、一番下にありますとおり、イベント等の主催者へ直接出向き、感染防止対策の徹底の依頼や、他のイベントで講じられた対策についての情報提供のほか、ばんえい競馬とタイアップした啓発活動の実施や、市町村と連携した観光拠点における感染防止対策の呼び掛け、さらには、各学校や各業界団体に対して感染防止対策の徹底や、ワクチン接種の呼びかけを再度依頼するなど、様々な機会や媒体、関係機関などを通じて、住民の皆さんに、感染防止対策の重要性についてのメッセージがしっかりへ届くよう取り組んでまいります。

以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

このほか、各部振興局からご発言はございませんか。なければ本部長からお願いします。

【本部長（知事）】

全国では感染が急拡大しています。昨日の国内の新規感染者数は15万人を超え、過去最多を更新し、本日も、東京都では初めて3万人を超えて過去最多を更新するなど、これまでで最も大きな感染拡大になってきています。

本道の感染状況や病床の現状は、他の都府県と比較すると低い状況にありますが、本道では首都圏などに遅れて感染が拡大してきたことを踏まえると、警戒感を高めて対応し

ていく必要があります。

先週15日、国は基本的対処方針において、現下の感染拡大への対応について、新たな行動制限を行うのではなく、社会経済活動をできる限り維持していくという考え方を明らかにいたしました。昨日も官房長官が改めてそうした方針を会見で述べられたところでもあります。こうした現状のもとで、引き続き、社会経済活動を維持していくためには、道民の皆様お一人お一人に感染防止行動に関する意識を今までよりも、もう一段高めていただき、感染対策を徹底していく、このことが重要になります。

道内でも感染者数の増加傾向は継続しています。昨日の先週比は1.90と、新規感染者数は1週間前のほぼ倍という状況になりました。本日の新規感染者数は、3,965人となりまして、69日ぶりに3,000人を超えるという状況になってます。

病床の使用率については、全道で13.4%という状況で増加傾向が続いております。札幌市では20.8%となりました。こうした状況を受けまして札幌市長とは、現時点では行動制限を行うような状況ではないと認識を共有しているところでありますが、今後とも、医療への負荷の状況を丁寧に把握するなど、オミクロン株の派生株の状況も含め、慎重にモニタリングをしていくとともに、医療への負荷が限定的である今、先を見越して即応病床のフェーズ移行を検討するように指示をいたします。

今回の感染拡大の要因とも指摘されているBA.5系統などの派生株については、34件となっております。国立感染症研究所によりますと、8月上旬にほぼBA.5系統に置き換わると推定されています。引き続き監視を行ってまいります。

現在のような感染拡大局面においては、医療への負荷に直結する重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方などへの感染拡大を防いでいく、このことが重要になります。このため高齢者や基礎疾患のある方、またそうした方と会う方双方の基本的な感染防止行動をより一層徹底していただくことをお願いいたします。

高齢者施設等においては、効果的な換気など基本的な感染防止対策の徹底や職員の方に対する頻回検査の実施、さらにはワクチンの4回目接種などの取組を加速してください。

各本部員、地方本部員には道内の感染状況等を踏まえ、高齢者や基礎疾患のある方をはじめ、道民の皆様「3つの行動」をより一層徹底していただくこと、この時期に特に注意が必要な場面、場所での実践について呼びかけをしていただくよう指示をいたします。

そして、振興局においては、市町村や関係団体と速やかに情報共有を図り、連携を緊密にするとともに、地域の感染状況に応じ、保健所の支援を強化するよう指示をいたします。

ワクチンの4回目接種については、対象範囲の拡大が正式に決定された後、速やかに接種を開始できるよう市町村を積極的に支援してほしいと思います。また、3回目接種を含め、積極的に接種をご検討いただけるよう働きかけをお願いいたします。

道のノババックスワクチンの接種についてであります。市町村においても北見市、函館市、旭川市が既に開始しております。今後、苫小牧市、釧路市において接種が始まります。引き続き、ノババックスワクチンの接種について、その他の市町村との調整を進めるように指示をいたします。

無料検査について、新たに検査を開始します旭川駅をはじめ、新千歳空港、帯広駅など道内の主要な駅、空港での検査ができる体制となります。お盆休みに向けて様々な媒体を活用するなどして積極的に広報し、多くの方々に利用を促してください。

最後になりますけれども、感染者数の増加局面となっております。今後、様々な社会的な機能を維持していくこと、このことも重要になります。このため事業者の方々には、事業

継続計画、BCPなどの再確認をお願いいたします。また、道庁としても、改めて事業継続計画の再確認、これを行うように指示をいたします。

私からは以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

本部長から指示のあったことにつきまして、各本部員は必要な対応をお願いします。

以上をもって、新型コロナウイルス感染症対策本部の第118回本部会議を終了します。

（了）